

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもデイ青空

公表日 令和8年2月22日

利用児童数 27

回収数 18

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	94%	0%	0%	6%		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	82%	0%	0%	18%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	82%	6%	0%	12%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	94%	0%	0%	6%		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	94%	0%	0%	6%		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	100%					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	94%	6%	0%	0%		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	47%	12%	0%	41%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	88%	0%	0%	12%		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100%					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	41%	12%	6%	41%		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	76%	0%	0%	24%			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	88%	6%	0%	0%		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	82%	6%	0%	12%		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	76%	6%	6%	12%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	94%	0%	6%	0%		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100%					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100%					
	29	事業所の支援に満足していますか。	100					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもデイ青空				公表日		令和8年 2月 22日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		80%	20%	できるだけ広くスペースを作るために小物やおもちゃは事務所に置き、貸出し性にし、散らかさないようにしている。	活動スペースは確保できているが、個室スペースがないので、クールダウンできる場所を確保する。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		81%	19%	十分な人員配置を心がけています。	いつでも個別対応ができるように職員配置に努めてまいります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		80%	20%	当日の利用者の顔写真や乗車する車を記載したボードを掲示するなど、視覚的に見てわかる掲示を心がけています。	視覚支援等個々にあった支援を実施している。		
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子供たちの活動に合わせた生活空間の確保		94%	6%	テレビの設置、運動道具、玩具等、様々な道具を整え充実した活動を提供している。	おもちゃの消毒、フロアの定期的な清掃業者で清潔を保っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		50%	50%	個室スペースはあるが、プレイルームの隣にあることで落ち着けないこともある。	静かに過ごしたいときは個室スペースでクールダウンしている。庭に出たりしてクールダウンしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		100%	0%	毎日のミーティング、振り返りの時間を大切にし、目標とその達成度を毎日話し合っている。	管理者ミーティングを毎日行い、他事業所の一日の報告を共有している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		80%	20%	ミーティングで保護者等の意向を周知し、業務改善につなげている。	活動を通して保護者も参加し、交流する機会を設けるよう計画している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		100%	0%	毎日のミーティング、振り返りの時間で意見交換し、業務改善につなげている。	ミーティングや振り返りで職員が意見を出しやすい環境作りに努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				今後研修で外部の方に本事業所の業務状況について見て頂くような機会を設けられたらと思う。	外部機関との連携図り業務改善に取り組む。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		100%	0%	毎月一回、外部から講師に依頼し、様々な研修を実施している。	社外での研修にも参加し自己研鑽に努めている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		100%	0%	毎月の活動予定を作成し、ホームページに載せている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		100%	0%	定期的なモニタリングを実施し、日々変化する子供たちへの最適な支援方法を検討し、支援計画を作成している。	日々の送迎の際にも保護者様と綿密な情報共有を行い、より良い関係を築いている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		100%	0%	保護者様とのモニタリング後、子供の支援に関わる職員で周知し、子供の支援方法を検討している。	日々子供の支援の中で変化する事をミーティングや振り返りで職員で話し合って共通理解のもと支援する。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		94%	6%	モニタリング後、ミーティングにて内容を共有し、計画に沿って統一した支援を行っている。	ミーティング内容は記録に残して休みの職員にも共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		100%	0%	自由遊びの時間や集団活動で他者との関わりを行動観察し本人の意欲や環境への適応実態を把握している。	学校での様子や家での様子を共有し、全体像を見えやすくする。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		80%	20%	自立支援、日常生活の充実、多様な体験等の視点を取り入れ本人の強みを活かせる具体的な活動計画を個別支援計画に明記しています。	発達支援のねらいに直結した質の高いサービスの提供ができるようにしていく。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		100%	0%	ミーティングを行い、意見を出し合いながら支援を行っています。	他事業所のいい案を参考にしていくことも話し合っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		100%	0%	ミーティングを行い、意見を出し合いながら支援を行っています。	他事業所のいい案を参考にしていくことも話し合っています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	80%	20%	個別活動と集団活動をバランスよく組み合わせた計画を作成しています。	一人ひとりのペースに合わせた細やかな支援の充実を図ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	ミーティング、振り返りを行い、情報共有し、気づいた点を振り返りノートに記入。都度スタッフ間で周知しています。	ミーティング、振り返りを行い、情報共有し、気づいた点を振り返りノートに記入。都度スタッフ間で周知しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	業務終了後、振り返りを行い情報共有し、スタッフ間で周知しています。	業務終了後には報告メール等で各事業所の活動報告を周知し、ヒヤリハット、事故報告を徹底し、連鎖しないよう連携をとる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	スタッフの記録を日々確認し、カルテとして個別ファイルに保存している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	6ヶ月に1回のペースでモニタリング、個別支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	70%	30%	色々な組み合わせで様々な活動を取り入れて支援につなげています。	地域交流の機会を、更に増やしていけるようにします。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	70%	30%	視覚支援を用いて、遊びの種類や活動の順番を本人が選べるように工夫しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	管理者、担当者職員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	60%	40%	外部講師からの研修を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	ホームページで確認し、学校のマックメールで連絡調整しています。	月初めにホームページで確認し、印刷して共有します。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	担当者会議で情報共有しています。	担当者会議での内容を従業員でも共有していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	80%	20%	相談員さんに連携を図り、助言を頂いています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	休日の活動を通して児童館や公園を利用し、地域の子供と活動する機会を作っています。	今後、地域の活動にも積極的に参加していくようにする。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。			参加できていません。	今後積極的に参加していきます。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時、保護者様とコミュニケーションを取り意見交換を行い都度職員にも周知しています。	送迎時、保護者様とコミュニケーションを取り意見交換を行い都度職員にも周知しています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			相談支援専門員と連携を図り、支援を実施している。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に丁寧に説明しています。	来所時の様子他、送迎時保護者様に報告していく。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	半年に一度のモニタリング時に確認しています。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	86%	14%	支援計画案をお渡しし、説明しながら確認を行ってもらっている。		
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	送迎時、保護者様とコミュニケーションを取り相談しやすい環境を作っています。		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	50%	50%	一年に一度、交流会を設けていたが、コロナの影響でできなくなっている。	コロナも5類になったので再開していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	迅速に対応し、今後も誠意をもって対応してまいります。	迅速に対応し、スタッフ内で周知し、誠意をもって対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	81%	19%	月1回行事予定表を配布し、情報伝達を行っている。	月1回行事予定表を配布し、情報伝達を行っている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	94%	6%	今後も取り扱いには十分気を付けていきます。	今後も取り扱いには十分気を付けていきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	94%	6%	日々、連絡ノートを活用し、情報伝達を行っています。	日々、連絡ノートを活用し、情報伝達を行っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。				今後、地域の活動にも積極的に参加していくようにする。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	94%	6%	感染症及び災害発生時の対応マニュアル策定し、職員会議での周知を行い、定期的に訓練、シミュレーション実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	年3回避難訓練、うち2回火災訓練等定期的に実施し災害に備えた取り組みを行っています。	年3回避難訓練、うち2回火災訓練等定期的に実施し災害に備えた取り組みを行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	90%	10%	契約時に確認し、記載しています。	半年に1回のモニタリングの際に再確認しています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	全職員で熟知し支援を行っています。	全職員で熟知し支援を行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	年度ごとに策定した安全計画に基づいて安全管理を徹底し、利用者の安全を優先とした支援を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	94%	6%	緊急時の対応や日頃の安全対策について共通認識を持って支援を行える体制を整えています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	全職員で周知し改善策を考え、徹底し取り組んでいます。	全職員で周知し改善策を考え、徹底し取り組んでいます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	年1回全体研修受講、虐待防止委員会年1回、随時事例検討会実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	契約時しっかり説明を行い同意の上書面、捺印いただいています。	契約時しっかり説明を行い同意の上書面、捺印いただいています。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイ青空		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 16日		～ 令和7年 10月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 16日		～ 令和年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	季節の行事や多様な外出を支援の核としています。春の桜、夏の水遊び、秋の収穫、冬の伝統行事等、様々な体験を通して豊かな完成を育んでいます。公共施設や公園への外出で社会マナーや集団行動を自然に身につけています。	活動中の様子を写真や動画で記録し、連絡帳で保護者様へ細かく報告し、家庭では見られないお子様の一面を共有しています。	外出後に必ずスタッフで振り返りを行い、次回の安全管理やプログラム改善に努めています。
2	毎日真心を込めた「手作りおやつ」を提供しています。	既製品にはない優しい味わい、アレルギー対応や栄養バランスにも配慮しています。	子供たちがトッピングや盛り付けをお手伝いする機会を増やし、自分で作ったという自信を育てていきたいと思ひます。
3	土日祝も休まず営業しています。365日に近い形でお子様をお預かりすることで、ご家族の皆様への心のゆとり、休息のケアを大切にしています。	平日は忙しいご家族が、ほっと一息つける時間を作れるよう土日にも開けています。時間はたっぷりあるので、公園へ遠出したり、おやつを作ったり、休日だけの特別メニューを作っています。	土日ならここに行きたいという子供たちのリクエストをもつと取り入れて、ワクワクする週末を目指します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	コロナ禍の影響により、これまで保護者様をお招きしての行事や交流会を控えていました。	コロナ禍において、お子様の安全最優先した結果、「密を避ける」という厳しい基準を設けざるを得ませんでした。	今後は長期休暇や週末を通じて、ご家庭との連携や保護者様同士の交流を深める場として充実させていきます。
2			
3			